

議会だより

2021年4月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



コロナワクチン集団接種訓練



エンゼル保育園卒園式 祝辞



春到来「満開の岩つつじ」

桜や草花が満開となり春爛漫を感じる季節を迎えておりますが、皆様にはご健勝で日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

私も各種会合や市民相談など元気に参加・対応しております。

平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、巨大津波と福島第一原発事故という未曾有の複合災害で、死者・行方不明者、約2万2千人の尊い生命を奪って10年が経過しました。その間にも熊本地震・西日本豪雨災害など全国各地で多くの災害が発生しています。そして、令和3年2月13日と3月20日には東日本大震災の余震として震度5強から6強の地震が発生しました。「天災は忘れた頃やって来る」という警告を再認識して備えを万全にしましょう。

本市においても、桜島の噴火や台風の常襲地域にあることを考慮し、震災の教訓を風化させることなく、「自助・共助・公助」による災害のない安心・安全なまちづくりに尽力する決意をして、私共は3月11日14時46分に黙とうをささげました。

また、新型コロナウイルス感染症は社会・経済に大きな打撃を与え、非常に深刻な事態に陥ることから、国は「緊急事態宣言」を発すると共に感染症拡大防止対策、雇用の維持、事業の継続などの施策を講じていますが感染力が強く免疫が働きにくくなるとされる「変異ウイルス」が確認されるなど収束が未だに見えていない中では、各人が更なる努力として手洗いや消毒の励行、マスクの着用、密接・密閉・密集など「3密」を避けるなどの自衛策を、油断することなく実行する必要があります。

本市においても、3件のクラスターが発生し、新型コロナウイルス感染者が131人(3月27日現在)確認されております。鹿屋市では、いち早く感染症対策本部会議を開催し、徹底した感染予防策と特別定額給付金や子育て応援給付金などの市民生活支援、飲食業や宿泊・観光業者などの経営継続支援、プレミアム商品券の発行などによる地域経済の活性化等に約150億円(当初予算含む)を講じております。さらに、ワクチン接種推進チームを設置し、医師会の協力により、3月20日には集団接種訓練が実施されると共に、円滑に接種できるように万全を期する協議・努力が行われています。医療従事者をはじめ多くの皆様に敬意と感謝を申し上げます。

さて、鹿屋市議会3月定例会は、2月25日から3月25日までの27日間開催されました。今議会に上程された議案は、一般会計予算(令和3年当初予算・令和2年補正予算12号・13号)・特別会計予算及び条例・人事(副市長・鈴木 健太氏、教育長・中野 健作氏)・その他議案など38件を慎重審議いたしました。

一般質問には、代表(5会派)・(個人1人)が登壇し、多岐にわたって当局の見解を質しました。私共、政経・未来(原田・伊野・宮島・別府込・田辺・梶原議員)は、①施政方針 ②総務行政 ③鹿屋市消防団 ④福祉行政 ⑤成人式について代表して伊野 幸二議員が質問しました。

令和2年度鹿屋市一般会計補正予算(第12号・13号)9億4,436万円

新型コロナウイルスの感染拡大に未だ歯止めがかからない中、地域経済等への影響を踏まえ、地方創生臨時交付金を活用した事業者・市民生活支援・感染防止対策に要する費用に国の補正予算に対応した事業、基金への積み立てなどを中心に編成されています。

1. 事業者支援

①緊急経営支援事業・・・事業費 3億6,122万9千円

(ホテル・旅館業、旅行業者、貸し切りバス・タクシー・運転代行者事業者、飲食店直接取引先、時短要請対象外飲食店が対象)

2. 市民生活支援

①生活応援給付金事業・・・事業費 4,983万円

(緊急小口資金、総合支援金、住居確保給付金の貸付けや給付を受けた世帯に支援金、単身世帯3万円、2人以上世帯5万円)

②町内会感染防止対策事業・・・事業費 1,655万円(加入世帯数により5万円から25万円交付)

③新入生入学準備応援事業・・・事業費 2,210万円

(令和3年4月に入学する小学・中学生の保護者に1人当たり1万円給付)

3. 感染防止対策

①PCR検査助成事業・・・事業費 2,185万4千円

(検査を希望する市民、費用の3分の2、上限15,000円、令和3年8月31日まで)

令和3年度 鹿屋市一般会計当初予算(521億7千万円)の概要

コロナ禍の影響により地域経済が低迷する中において、これまで以上に持続可能で健全な財政運営を念頭に置き、第2次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像【ひとが元気! まちが元気! 未来につながる健康都市かのや】の実現に向けた施策・事業を推進する予算として編成されております。

基本目標1 やってみたい仕事ができるまち・・・19億9,700万円 (活力ある農林水産業の振興や商工業の振興、雇用の促進)

①地域6次産業化推進事業・・・1億1,400万円

(地域資源を生かした新たな食・農ビジネスの創出・・・フォーラム開催)

(新たな生活様式に対応した販路拡大支援・リモート商談会・電子商取引に係る支援)

②スマート農業推進事業・・・1,330万円(統合環境制御装置や農業用ドローンの普及推進)

③がんばる畑作応援事業・・・1,500万円(輪作さつまいも基腐病対策支援、薬剤噴霧機の導入支援など)

④高品質かのや和牛産地事業・・・5億4,920万円(繁殖・肥育農家の支援強化、畜舎等の整備支援)

⑤企業誘致サポート事業・・・2億5,190万円

(サテライトオフィスの誘致促進、企業誘致サポーター制度の創設、立地企業の設備支援)

⑥人材確保・担い手育成事業・・・9,510万円

(雇用支援施策構築の調査・分析、農業後継者への機械や設備の導入支援など)

基本目標2 いつでも訪れやすいまち・・・4億4,100万円

(地域資源を生かした観光の推進、スポーツによる交流の促進、移住・定住の推進)

①戦争遺跡保存活用事業・・・2,280万円

(串良基地跡など戦争関連資料映像制作、姫路市・加西市・宇佐市との連携平和ツーリズム)

②ばらを活かしたまちづくり推進事業・・・2,570万円

(かのやばら園リニューアル構想策定、春・秋のばら祭りなどのイベント開催)

③スポーツによる交流推進事業・・・2,760万円

(シエルブルーかのや・モリオールウェブかのやの支援、スポーツ合宿の勧誘など)

④スポーツ施設整備事業・・・1億8,940万円

(鹿屋中央公園(照明LED化)・鹿屋運動公園(ウレタン塗装改修)・野里運動公園の設計など)

⑤人口維持・移住促進推進・・・1,440万円

(移住希望者へのPR動画を制作し情報発信、若者の出会いの場づくり)

基本目標3 子育てしやすいまち・・・33億2,400万円

(子育て支援の充実、未来につなぐ教育の充実)

- ①子供医療費助成事業・・・4億5,930万円(高校卒業まで医療費無償化・窓口無償化の拡充)
- ②地域子育て支援拠点事業・・・5,540万円
(子育て交流プラザ・つどいの広場を通じた健康増進・相談支援による支援機能の充実)
- ③不妊治療費助成事業・・・1,270万円
(不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減、上限10万円、5年間)
- ④ICT教育推進事業・・・9,040万円
(一人一台のタブレット端末を活用した学習推進、GIGAスクールサポーターの配置など)
- ⑤北部学校給食センター施設整備・運営事業・・・15億4,210万円
(令和3年9月供用開始に向け、給食センター本体工事、調理備品・食器等の購入など)
- ⑥鹿屋女子高活性化事業・・・2,610万円
(鹿屋体育大学との連携などスポーツ分野の強化、総合選択制・課題研究、楽器の充実など)

基本目標4 未来につながる住みよいまち・・・28億4,000万円

(快適な生活基盤づくりの推進、安全で安心な生活の実現、自然環境にやさしいまちづくりの推進)

- ①雨水排水対策事業・・・1億4,610万円
(5号排水路の防災調整池の調査・研究、新川地区の排水路整備、都市公園等に流出抑制施設を整備)
- ②道路整備事業・・・5億6,560万円
(西原46号線、寿大通線、吾平東線、林道ツイデ平線ほか、整備による利便性を図る)
- ③立地適正化計画策定事業・・・910万円(居住や都市機能を誘導すべき区域、誘導施設等を策定)
- ④二次救急医療体制支援事業・・・5,890万円
(重症救急患者の医療体制を維持・確保するため、二次救急医療機関の安定的な運営を支援)
- ⑤防災・減災対策事業・・・1億2,030万円
(大規模盛土造成地変動予測調査、地域防災力強化)
- ⑥環境対策推進事業・・・1億890万円
(環境フォーラム2021の開催、畜産環境センター利用農家の自己処理施設の整備など)

基本目標5 ともに支え合い、いきいきと暮らせるまち・・・10億2,400万円

(地域福祉の充実、健康・生きがいづくり、地域コミュニティ活動の推進)

- ①生活困窮者自立支援事業・・・1,290万円
(就労や家計改善に関する相談員の配置、住居確保給付金の支給など)
- ②農福連携・障害者支援事業・・・390万円
(就労支援施設と農業者のマッチング、タブレットやスマホを通じた遠隔手話サービス、通所等施設における自家発電機器の整備)
- ③アプリを活用した運動習慣定着化事業・・・340万円
(オンライン方式によるスポーツイベントの実施、目標歩数達成者への特典提供)
- ④共生協働・コミュニティ活動推進事業・・・2,380万円
(女性が奏でるまちづくりセミナー・ワークショップ開催、地域課題解決の市民活動支援)

市政運営・・・40億7,800万円(スマート自治体の推進、財源確保のための取組み)

- ①スマート自治体推進事業・・・3,140万円
(スマート化計画に基づき、システム導入等を行い、効率的・効果的な行政運営など)
- ②ふるさと納税促進事業・・・11億5,860万円
(市外の寄付者に魅力ある特産品を返礼品として届ける・・・令和2年度寄付金約28億円)
- ③クラウドファンディング型ふるさと納税の活用・・・寄付目標額 500万円
(戦跡保存・平和の架け橋プロジェクト、スポーツ都市かのかや推進、あいら川プロムナード整備、資金調達や効果的な情報発信を学ぶセミナー開催など)
- ④企業版ふるさと納税の活用・・・寄付目標額 500万円
(企業から寄付を募り、官民連携による地方創生の更なる推進)

政経・未来 代表質問項目

1. 施政方針について

(1)第2期鹿屋市スポーツ推進計画について

- ①計画の基本目標・方針等の概要を示されたい。
- ②成人の運動・スポーツの実施率を引き上げるための具体的な取り組みについての考え方を示されたい。
- ③スポーツ施設の再配置や稼働状況の効率化について、どのような施策を講じられるのか。また、今後の整備内容を示されたい。

(2)大隅地域をホームタウンとするプロスポーツチーム及びトップスポーツチームと連携した地域活性化について

- ①現状ともたらす効果について示されたい。
- ②鹿屋・大隅地域を代表するような大規模なスポーツ大会を開催する考えはないか。また、今後の支援策と活性化策を示されたい。
- ③クラウドファンディング型ふるさと納税の活用による「スポーツ都市かのや推進プロジェクト」について具体的に事業内容を示されたい。

(所感) スポーツは結果を競い合うだけではなく、健康や生きがいにつながることから、スポーツに取り組みやすい環境づくりに尽力されるように期待すると共に、プロチーム及びトップアスリートとの連携強化は、地域情報発信や交流人口の増及び地域経済の活性化等に大きく貢献することを考え、その活動を継続するために、資金面はもちろん、ボランティアなどの人的支援も必要であることから積極的な支援を希望する。



シエルブルーかのや選手



モリオールウェーブ かのや選手

2. 総務行政について

(1)自然災害の恒常化や感染症対策など住民の安全・安心の観点から地方自治体の危機対策が重要視される中、特に、技術系職員(土木技師・建築技師・保健師)の体制を強化すべきと思うがどのように考えるか。

- ①勤務状況について現状を示されたい。また、その状況をどのように認識されているか。
- ②職員の確保に向け戦略的、具体的に取り組んでいく必要があると思うがどうか。

3. 鹿屋市消防団について

(1)本市の消防団の団員数の推移と団員確保の取り組みについて示されたい。

(2)消防団員の報酬及び費用弁償の現状を示されたい。また、処遇改善など活動の充実+強化を図るべきと思うがその施策を示されたい。

4. 福祉行政について

(1)障がい者福祉行政について

- ①第5期鹿屋市障害福祉計画・第1期鹿屋市障害児福祉計画の取り組みの成果と課題を示されたい。
- ②第6期鹿屋市障害福祉計画・第2期鹿屋市障害児福祉計画の取り組み方針と重点施策を示されたい。

(2)障がい者の雇用・就業について

- ①障がい者の雇用促進、職場への定着の現状と今後の取り組みを示されたい。
- ②就労移行支援事業及び就労継続支援事業の現状と今後の取り組みを示されたい。
- ③障がい者の雇用拡大が期待される農副連携の取り組みの現状と今後の取り組みを示されたい。

5. 成人式について

(1)成年年齢が2022年4月から現行の20歳から18歳に引き下げられる。本市において今後の成人式をどのように実施されるか示されたい。



地鎮祭



(株)鹿栄電設外観図

紙面の都合上、当局回答は掲載できませんので「ホームページ」や「議会だより」をご参照ください。